

平成28年度後期 学部(群)教育改善計画

学 部 (群) 名	事業構想学部(群)
学部(群)長名	風見正三

1ー(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学部(群)全体で改善すべき重点課題について3つ挙げてください。	
①	授業運営における Moodle の活用は未だ十分ではなく、予習・復習の状況を把握し、学習支援システムの基準化を図ることが必要である。
②	授業の達成目標の記載が明確でない科目も散見されるため、体系的な授業計画や効果的な教授法の検討が必要となる。
③	アクティブラーニングの導入が不十分であり、学部や学群の特性や履修モデルを踏まえながら効果的な導入の検討さらに進めていく必要がある。
1ー(2). 上記の3つの課題をそれぞれ解決するための取組と、その具体的な進め方(5W1H等)について書いてください。	
①	Moodle の活用状況の確認を行い、学習支援システムとしての効果の検討を行うとともに、学部の教務・学生WGを中心に、FD等の機会に、操作方法や活用方法についての講習を行い、教員へのサポートを推進する。
②	授業の達成目標の状況を把握するとともに、学類毎に、体系的な授業計画や効果的な教授法の参考となる事例を共有し、後期の授業計画への反映を進めていく。
③	現在の授業におけるアクティブラーニングの導入度を教授会等で確認し、教務・学生WGを中心に、アクティブラーニングの事例研究や学類等における検討課題や取り組みを明確にしていく。

2ー(1). 各科目の授業改善計画書から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。	
・外部の専門機関共同し、最新の価値概念をプログラムの中に取り入れる。 ・講義の中で実事例を取り上げることにより、体験型の課題にして意識を上げる。	
2ー(2). 上記の事例を学部(群)全体でどのように共有して教育改善につなげていくか、具体的な進め方(5W1H等)を書いてください。	
教授会(教員連絡会議)の中で、定期的な授業改善の検討の時間を設定し、学類毎の進捗状況をモニタリングするとともに、その進捗を確認していく。	